



一人ひとりを思う

校長 竹下 護

2023年（令和5年）、新しい年を迎えました。新年の学校のスタートは1月10日。少し長めの冬休みとなりましたが、ご家庭や地域では、感染症の対策を講じながら、新たな気持ちで新年をお迎えになられていることと思います。

12月4日（日）～12月10日（土）は人権週間でした。上大岡小学校ではこの時期に、「ほめほめ言葉のプレゼント」の取組を続けています。その取組にあたって、朝会で子どもたちに向けて次のような話をしました。

今日は、みなさんにつけてほしい、伸ばしてほしい「思う力」についてお話します。「思う」というのは、心の中で感じたり、考えたり、気にしたり、することです。

校長先生は今朝も120段階段を上って来ました。そこで、ふり返って、富士山を見ました。そして、思いました。いろいろなことを思いました。

みなさんも富士山を見たことがありますね。どんなことを思いましたか？

「きれいだな。」「すごいな。」だったり、「今日はいいことありそうだな。」「今日もがんばろう。」だったり、「富士山の近くの御殿場でみんなと一緒に泊まって楽しかったな。」だったり、人によっては、「やばっ。」「すげっ。」かもしれません。

思ったことを口に出す、言葉にしてみるということは、自分の思いが相手に伝わったり、自分自身のことがわかったりするので、とても大切なことです。さらにそれを聞いてくれる人がいて、同じように、「すごいね。」「そうだね。」と言ってくれたりするととてもうれしくなります。

でも、ちょっと難しいのは、相手のこと、周りの人のことを考えながら、思いながら言葉にすることです。「相手のことを思いながら、自分の思いを伝える。」これができると、とてもすばらしいことで、すてきなことで、相手にとってはうれしいことです。

今週は人権週間です。相手のことを思う時間をつくって、相手のことを思う言葉を考え、相手のことを思う力を伸ばしてほしいな、と思います。素敵な時間になることを期待しています。

今年度も「ほめほめ言葉のプレゼント」の取組を通して、一人ひとりの相手のことを思う力や、それを言葉にして伝える力が伸ばせたことと思います。これからも相手を思い、ほめほめ言葉をかけ続けられるようにしていきます。保護者のみなさまにもご協力いただき、ありがとうございました。「ほめほめ言葉」は、担任から子どもたちに返却します。

今年も、上大岡小学校の子どもたち、保護者や地域、教職員の一人ひとりのことを思い、目を向け、つながることを大切にしながら、誰もが、安心して、豊かに過ごせる学校づくりに努めます。

また、保護者や地域の皆様と協働しながら、子どもたちにとって、さらに楽しく、充実した活動や学びの時間をつくりだしていきます。今年も、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



1月10日の朝
富士山と月



用務員室前を飾る掲示物（用務員 坂本作）